



久留米

KURUME

米

ふるさと情報発信



耳納北麓の柿

福岡県は、日本有数の甘柿の産地で、中でも耳納北麓地域は県内の主力産地です。紅が濃く、甘さの乗った柿が生産されており、9月中旬の「西村早生」を皮切りに、大玉で糖度の高い「太秋」、種のほとんどない「秋王」、11月中旬からは「富有」などの品種がリレーしながら、全国に向けて出荷されます。



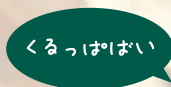
市のマーク

片仮名の9個の「ル」で「米」を取り囲むように配した市章はクイズ番組でよく出題されます。



久留米市プロフィール

福岡県南西部にあって、距離32.27kmと東西に長く、面積は229.96㎡、人口は約306,000人。九州自動車道と大分・長崎自動車道のクロスポイントに近い中核都市です。九州一の大河・筑後川が貫流し、南側には耳納連山が東西に連なっています。



久留米市イメージキャラクター

くるっぽ

久留米市は、人・安心・活力を市政の基
本にしています。

中でも、耳納北麓地域は、農業・工業・居
住・観光の各分野で優れたポテンシャルを
持つっており、久留米版地方創生である、キラ
リ創生総合戦略を進める実践エリアです。

そこで、グリーンアルカディア創生パッケージ
と名づけ、産業創出や観光振興に取り組ん
でいます。

他にも優れた文化・芸術や豊かな食文化
などを生かしたまちづくりも進めています。

寄稿…久留米市総合政策部広報課



田主丸町観光農園の巨峰狩り

耳納北麓から発信



フルーツ観光



幸水梨



富有柿



イチゴ

四季折々に楽しむ

耳納北麓一帯は巨峰、柿、イチゴなどフルーツの一大産地です。四季折々の味わいが楽しめます。中でも巨峰は、今年で開植60周年。田主丸町には60軒を超える観光農園があり、毎シーズン、観光客でにぎわいます。

外国からのお客様さん歓迎

観光農園には東南アジアをはじめ、外国からのお客様さんも年間約5,300人が訪れます。市ではインバウンドの大きな要素として注目し、積極的なPRと集客に力を入れています。

言語ごとに作られた、
インバウンド用パンフレット



久留米観光コンベンション国際交流協会

〒830-0031 久留米市六ツ門町3-11

くるめりあ六ツ門6F

TEL / 0942-31-1717

久留米観光コンベンション

検索



エンジンの説明に聞き入る、見学の子どもたち



生産ラインは最先端技術の宝庫



空から見た、吉本工業団地

自動車のエンジンの
できよところか
見らなるとよ



工場見学

北麓の新スポット 工場観光

自動車関連産業など
積極誘致

久留米市は、活力や成長力のある企業の誘致を戦略的に進めています。広域合併以降、市内の産業団地に51社が進出。新たに1,053人の雇用が生まれ、現在は約5,700人の働く場となっています。ダイハツ九州久留米工場やダイハツグループ九州開発センター、東プレ九州技術センターなど、自動車関連が8社。約700人の新規雇用が生まれ、関連産業の集積も進んでいます。ダイハツ久留米工場では、エンジン工場見学を受け入れ、人気のスポットになっています。



ダイハツグループ九州開発センター

●エンジン工場見学のお問い合わせは
ダイハツ九州株式会社

久留米工場管理室工場見学受付
TEL / 0943-72-7003

ダイハツ九州

検索



久留米つつじ



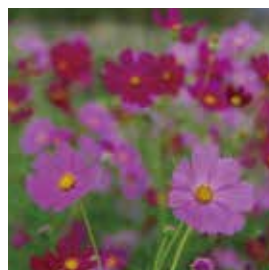
久留米つばき(正義)



久留米市世界つつじセンター



久留米市世界のつばき館



久留米市の花は2種、木は5種あります。
市の花／久留米つつじ・コスモス(写真)
市の木／久留米つばき・くろがねもち・
けやき・くすのき・樺(はげ)



白玉宝珠



原種つばき・ハイドウン



つつじまつり(久留米百年公園)



久留米つつじ
久留米つばき

山裾に広がる植木産地

耳納北麓は、古くから緑花木の栽培が盛んです。

中でも、市の花久留米つつじは市民のシンボルとして親しまれ、4月にはつつじ展示販売するつつじまつりが開かれます。耳納北麓にある、久留米市世界つつじセンターは約1,600品種21,000本(整備時点)のつつじを植栽。国内最大級の品種数を誇っています。

代表品種は「正義」

鑑賞用として育まれた久留米つばきは、豊富な品種数があります。江戸末期、シーボルトが欧州に持ち帰り、人気を博した「正義」が代表品種。久留米つばき園に約500種、石橋文化センターに約260種、久留米市世界のつばき館には100種類以上を展示しています。

久留米市世界のつばき館

〒839-0837
久留米市草野町矢作490-2
TEL／0942-47-1821
FAX／0942-47-1821

久留米市世界つつじセンター

〒839-0826
久留米市山本町耳納1875-1
TEL／0942-47-4580
FAX／0942-47-5705

ここは時間が
ゆったりと流れる。

店名は、ふるさとの木「ハゼ」から。山本町の店の前で



ひらた あつし
平田 優さん

東京のフランス料理店で20年間料理長を務める。日本の伝統食をベースにしたマクロビオティック料理*に、フランス料理の技術とエスプリを融合させる。2012年、久留米に拠点を移し、古民家レストランHaze(はぜ)のオーナーシェフ及び料理教室などを中心に活動。1961年、東京生まれ。

古民家レストラン Haze

久留米市山本町豊田1849-1
TEL/0942-27-6750
ランチ/11:30~14:30
ディナー/18:00~20:00
ディナーは予約制/月・火曜定休*祭日は営業

総合政策部 移住定住促進センター

〒830-8520 久留米市城南町15-3
市役所本庁舎9F
TEL/0120-888-748
FAX/0942-30-9703

*マクロビオティック料理

穀物・野菜・豆・海藻といった食材をベースに伝統的な調味料を使い、美味しいことは勿論、体に負担のかからない健康的な食事



久留米にこんね



移住・定住促進

耳納北麓に魅せられて

新鮮な野菜や果物を使って

平田優さんは、田舎暮らしを求めて東京から移住。オーナーシェフとして、久留米市山本町で古民家レストランを営んでいます。「いい物件があつて、5年前に来ました。お出しする料理は、野菜や果物で、素材にこだわっています。久留米は県内一の農業都市。良質なものが新鮮で安い」と話します。食材の仕入れは契約農家や道の駅から。「民家に昔からいる常在菌をうまく使って発酵食品にも取り組んでいる。医者のまちでもあるので、医療と食を融合させたい」と夢は膨らみます。

市では、様々な支援メニューを準備。全国からの移住定住政策を進めています。



わが国は
筑紫の国や
白日別
母います国
櫛多き国

青木繁

ハゼ並木を歩く。葉を透過した陽光が美しい。
耳納連山のけしけし山に青木繁の歌碑があり、命日に近い日曜日に「けしけし祭り」が催されます

きれいかねえ



柳坂曾根の
ハゼ並木

久留米出身の画家・青木繁が歌に詠んだ
櫛多き郷



ハゼ祭り



耳納連山から見たハゼ並木



ハゼの実



ハゼの実で作る和ろうそく

純植物性のため油煙が少なく、ほんのりとろうの
香り。点火するとろうは液体となり、炎と共に蒸発
します。液だれやすすが少ないのが特長

紅葉の時期、ハゼ祭りが開かれ、並木道は
歩行者天国に。沿道には野菜・果物・民芸
品・加工食品など地元の特産物を販売する
店で賑わいます。

柳坂曾根のハゼは、久留米藩が寛保2
(1742)年に灯明用のろうの原料とし
て植樹したもので、柳坂曾根のハゼ並木には
約200本が植えられています。約1・1
km続く並木道は、県の天然記念物に指定さ
れ、新・日本街路樹100景にも選ばれてい
ます。

ハゼの実の特産物として、久留米藩でも
享保15(1730)年、竹野郡亀王村(現
田主丸町)の庄屋竹下武兵衛が初めて栽
培し、宝暦年間頃、他国にも普及しました。



道の駅くるめ

善導寺町木塚、国道210号沿いの約1万平方mに直売所、レストラン、トイレ、休憩所を備えています。毎朝、新鮮で安全・安心な旬の地元農産物を取り揃えています。品ぞろえは福岡県内でもトップクラス。漬物、弁当、菓子から地酒、ラーメン、久留米餅など、特産品も販売しています。電気自動車の充電スポットもあります。



永勝寺(もみじ寺)

山本町の柳坂曾根のハゼ並木から、けしけし山の登山道に入った所に、柳坂山永勝寺があります。創建は680年と言われ、推定樹齢200年以上のアカメヤナギ(市指定天然記念物)の大き木をはじめ境内には大杉が林立。秋にはさまざまな紅葉で、鮮やかに埋め尽くされます。



草野の町並み

草野町は「伝統的町並み保存地区」に指定され、毎年11月には「草野まちかど博物館」と題し、町の有志により古い民家、庭園などを一般開放します。町で最古の家屋・鹿毛邸(1780年頃建築、福岡県指定文化財)をはじめ社寺、仏閣など、普段は見ることができない旧家屋、貴重な美術・文化資料を見ることができます。



あふれる魅力の選択肢、さらに

道の駅で旬を買うか、オルレを歩くか
お出かけ・見どころ・体験スポット。



山苞の道

耳納連山の麓、田主丸町の自然の中を続く5.7km。「苞」は、ワラで包んだ土産のことです。山苞の道は、絵画、陶芸、染色の作家が暮らし、巨峰や植木・苗木の産地として豊かな環境を守ってきました。11月2日と3日には「来て見てん山苞の道」を開催。歴史とともに、手作りのお店や観光農園などが、温かく迎えます。



善導寺

開山は1208年と言われ、浄土宗の開祖法然の高弟聖光上人が建立。大本山の格式をもった古刹です。境内には、シンボルの大楠がそびえ、そばに菩提樹がたたずんでいます。インドで釈迦が悟りを開いたのが菩提樹の下とされ、5月～6月にはかわいい花が咲きます。



九州オルレ「久留米・高良山コース」

福岡県で九州オルレ3番目のコースで、森林つつじ公園や王子池をめぐる8.6km。筑後国一の宮である高良大社をはじめ、四季折々の美しい自然、歴史、神秘的な空間など、久留米ならではの見どころがいっぱい。難易度は中級～上級と、ちょっとしたアドベンチャーを楽しめるコースです。(所要時間は3～4時間)

久留米観光コンベンション国際交流協会

〒830-0031 久留米市六ツ門町3-11 くるめりあ六ツ門6F TEL/0942-31-1717

久留米観光コンベンション

検索

東京で発信



アンテナショップ
「福岡久留米館」

東京と久留米をつなぐドア

7月22日、東京都港区新橋にアンテナショップ「福岡久留米館」がオープンしました。店内は、久留米をはじめとする筑後一円の特産品や工芸品でいっぱい。大木町のに草や久留米産の農産物などのイベント販売もあり、連日特産品のフルーツや地酒などを買い求める人で賑わっています。

FUKUOKA
久留米館

久留米市 大川市 小郡市
うきは市 大井町 大牟田市

アンテナショップ「福岡久留米館」

〒105-0004 東京都港区新橋2-19-4 SNTビル1&2階

TEL / 03-6280-6557 FAX / 03-6274-6647

営業時間10:00~20:00 年中無休(年末年始は除く)

福岡久留米館

検索

1階特産品売り場。商品は圏域から直送される



イート・インコーナー



1F もちろん
久留米ラーメンも

2F とっておきのメニューや
地酒が味わえる



2F 3種の地酒
飲み比べセット



2F 久留米産和牛の
ローストビーフ



2F シメサバと、かまぼこを
合わせた極鱈



2F 大川組子のコースター
繊細な技術が光る



1F 大木町の美酢
あまおうと、とよみつひめ



1F 大川市の
えびちぎり



東京の人に
教えちゃらんと〜

味な1階、匠の2階

フロアガイド



2F プレゼントやお土産に
人気の絨の小物



2F 久留米市伝統の
藍胎漆器



1F うきは市のジャム



2F 一の瀬焼
緻密なデザイン



1F どこか懐かしい、地元銘菓が
満載のコーナー



1F 旬なフルーツなども、地元から
直送して並びます



2F 伝統工芸品は、手ごろな
普段使いから、逸品まで



2F 4市2町の観光・移住情報
がそろう、情報コーナー



有名コーヒーショップの隣に開店。平日はサラリーマンが行き交う通りにあります

交通アクセス

- JR「新橋」駅銀座口から徒歩1分
- 東京メトロ銀座線「新橋」駅2番出口徒歩すぐ
- 都営浅草線「新橋」駅から徒歩1分

首都圏に発信する
4市2町の魅力

「福岡久留米館」は、久留米広域連携中枢都市圏を構成する久留米市、大川市、小都市、うきは市、大刀洗町、大木町の4市2町が共同で設立。圏域の特産品の宣伝販売や情報発信を行う、首都圏でのPRの拠点です。民間ビルに同居し、1階は特産品売り場、2階は伝統工芸品とイートインコーナー。また、各市町の情報コーナーや、移住相談を受けるコンシェルジュも配置されています。

文化を発信



文化のまちづくり

楽しみの うまれる ところ。



◀六角堂広場を中心とする中心市街地で、「たまがる大道芸」が開かれ、その迫力いっぱいの芸に盛んな拍手が送られました



久留米市中心街に開館



久留米シティプラザ

〒830-0031 久留米市六ツ門町8-1

TEL/0942-36-3000 FAX/0942-36-3087

久留米シティプラザ

検索

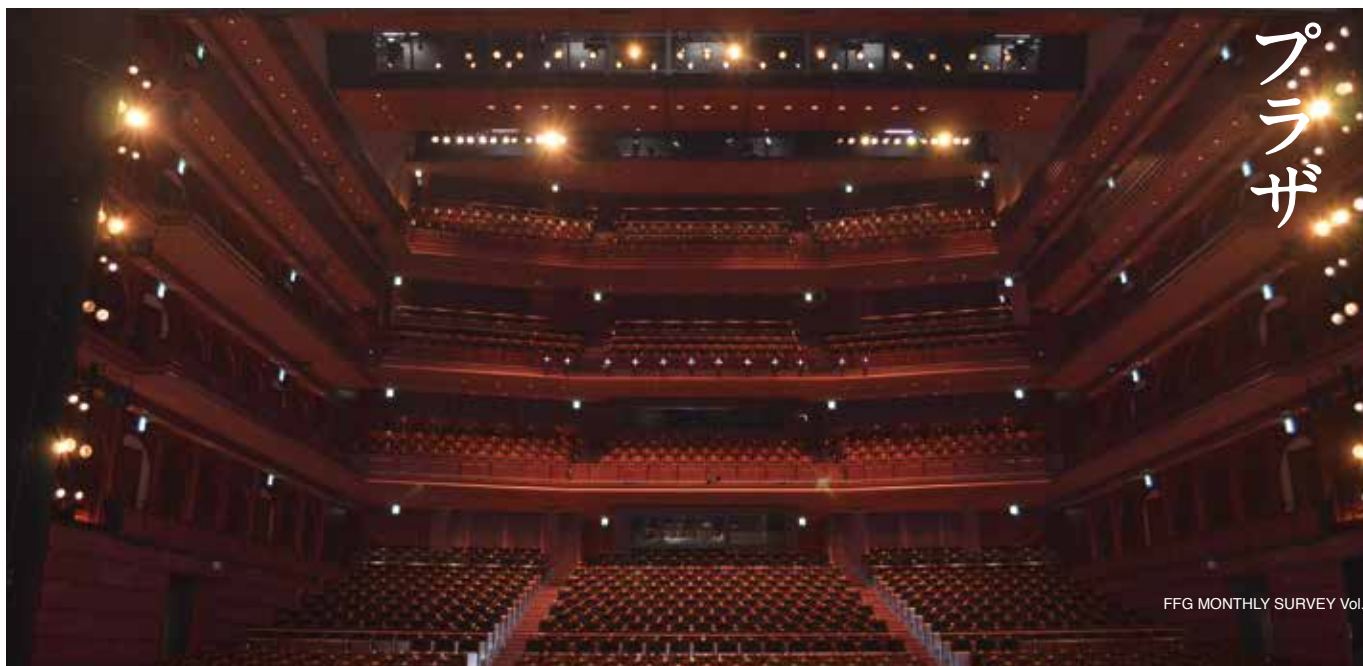
▼ザ・グランドホール

1,500人収容の大ホール。

どの客席からも間近に舞台を鑑賞できます

平成28年4月27日にオープン。優れた音響や舞台装置を誇る三つの劇場を整備。海外オーケストラの公演や人気のミュージカルなど、一流の芸術に触れる場、市民の文化芸術振興の場でもあります。全天候型の六角堂広場は、イベントの会場だけでなく、休憩や子どもたちが遊べるにぎわいと憩いのスペース。さらに会議室や展示室などを備え、国際会議や大規模学会も開けます。人の流れを生み出し、まちに活気をもたらす「久留米シティプラザ」は新たな歴史を刻んでいます。

久留米シティ プラザ





久留米市美術館



久留米市美術館

〒839-0862 久留米市野中町1015

TEL / 0942-39-1131

FAX / 0942-39-3134

開館時間 / 10:00～17:00

(入館は16:30 まで)

休館日 / 月曜日

(ただし祝日・振替休日の場合は開館)、年末年始(12/28～1/3)、臨時休館(展示替え期間など)

※くわしくはホームページをご覧ください

久留米市美術館

検索



市の収蔵作品、坂本繁二郎「放水路の雲」



誕生した石橋正二郎記念館

石橋文化センターの中心施設

石橋美術館60年の歴史と伝統を引き継ぎ、久留米市美術館は平成28年11月19日に開館。石橋文化センターの中心施設であり、開館以来「九州洋画」「吉田博展」など、話題の特別展を開催。今後も美術品の収集や、魅力ある様々な展覧会を実施していきます。センター全体を一つのミュージアムとした活動にも取り組んでいます。子どもたちと地元の若手芸術家との交流や、芸術家を目指す学生の創作活動の支援などのアートプロジェクトを展開しています。

石橋正二郎翁の足跡をたどる

久留米市美術館の開館に伴い、石橋正二郎記念館が誕生しました。ブリヂストンの創業者で、市の発展に大きく貢献した正二郎氏の足跡や人となりなどを紹介する、全国初の一般公開施設です。



高校生や大学生などがアートプロジェクトに参加。制作した作品は、センター内に展示。多くの人が訪れました

おいさを発信



久留米とんこつラーメン

久留米が発祥

今年で80年

白濁スープに中太麺

焼き豚、海苔たちが

脇を固める

とんこつ ラーメンの ルーツを 味わう



屋台「南京千両」
が始まり



昭和10年ごろ、久留米でうどんの屋台を営んでいた宮本時男さんは、鶏がらしよいう味の関東の中華そばにヒントを得て、新しい麺の開発を思いつきます。「もつとコクが出ないものか」と、ちゃんぽんの作り方を参考に、試行錯誤の末、ついに豚骨だけを使った深い味わいのスープができました。

昭和12（1937）年、宮本さんは明治通りで屋台「南京千両」を開業。中華そばを販売しました。とんこつラーメンの始まりです。



久留米ラーメンの秘密 呼び戻しスープ

久留米ラーメンの伝統的なスープの作り方は「呼び戻し」と呼ばれます。その店独自のスープに、毎日新しいスープを少しずつ継ぎ足しながら作るというものです。

単に前日のスープに新しいものを継ぎ足すだけでなく、味わいやコクを一定にするための技術が必要。卓越した職人の経験や勘がものを言う、このやり方は奥が深く、継承が難しいとされています。



JR久留米駅前で、老舗ラーメン店「来福軒」を営むラーメン会会長の吉野亮さんに聞きました。

久留米で生まれて80年

とんこつラーメンはワールドワイドに

とんこつラーメン、発祥の地は久留米ですが九州各地に広がって、独自の進化を遂げました。九州中にとんこつラーメンの名店が誕生。今や日本から東南アジアやアメリカなど、世界に飛躍しています。聖地久留米市では、今年10月14・15日、久留米シティプラザ六角堂広場を会場に、各地の名店を招いて誕生祭も開きました。これからも、伝統の味を守りながら、もっと飛躍していきたいですね。(談)

偶然が生んだ 白濁スープ

昭和22(1947)年。杉野勝見さんは、屋台「三九」で中華そばを出していました。沸騰させずに弱火で煮込む、澄んだ豚骨スープ仕立です。ある日、かまどの火加減を頼んだ家族がうっかり長時間強火力で沸騰させて、スープが白く濁ってしまいました。

した。店では出せないと諦めかけたものの、試しにタレを足してみました。食べると、深みとコクのある味に。これはいけると、店に出したところ、大評判になりました。杉野さんは、頼つて来た人には、惜しげもなく作り方を教えました。その味は、久留米だけでなく、北九州、熊本、大分、佐賀などに広がり、現在の九州ラーメンのルーツになったのです。





ダンスで目指せ国技館

くるっぱX

九州男児新鮮組

久留米市は、全国で活躍する市出身者に久留米の魅力を発信してもらおうと「久留米ふるさと大使」制度を設けています。平成29年4月、市内のダンススクール・スタジオM.J.に所属し、国内だけでなく、世界大会でも活躍しているチーム「九

州男児新鮮組」が就任。委嘱状授与式を行いました。

同時に、スリムになった市イメージキャラクター「くるっぱ」のダンスプロジェクトも始動。プロモーション動画出演や、市内外のイベントでダンスを披露し、注目を集めています。来年4月に東京の両国国技館で開催される、国内最大級のダンスイベントへの出場を目指して、猛練習中です。



スリムになって、ダンスもキレイのくるっぱ



九州男児新鮮組の皆さん

くるくるNEWS

買い物に観光に 便利な味方

コミュニティサイクル
「くるクル」



市内中心部の主要な観光スポットにあるポート

久留米市は自転車の似合うまちづくりのひとつとしてコミュニティサイクル「くるクル」を運営しています。登録制で、60分100円から貸し出し。JR久留米駅や西鉄久留米駅、石橋文化センターなど、市内10カ所にポートを設置し、自転車79台を準備しました。24時間いつでも利用でき、ポートがある場所ならどこでも貸し出しと返却ができます。

福岡都市圏で 久留米をPR

久留米フェスティバル
in天神2017

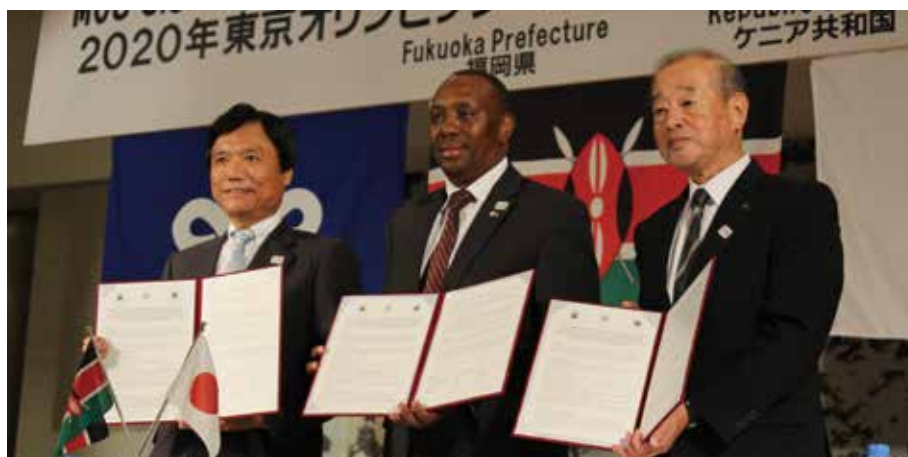


昨年の会場の様子

11月23日、福岡市役所ふれあい広場で「久留米フェスティバル in 天神2017」を開催します。福岡都市圏で、久留米の食や観光、ものづくり、文化芸術などの魅力を伝え、訪れてもらおうというイベント。とんこつラーメンや焼き鳥、うどんの販売、農産物の試食、観光名所や住みやすさの紹介などの出展や久留米出身のアーティスト、ダンスチームによるパフォーマンスも。



ケニアのアスリート 久留米に



左から小川知事、カベリアスポーツ庁長官、榑原市長

五輪キャンプ地 誘致の基本合意

福岡県と久留米市は、陸上競技の強豪・ケニア共和国と、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプについて基本合意に達し、8月23日に調印式を行いました。

今年1月に、榑原利則市長が駐日ケニア大使館を訪問し、豊かな自然や食文化、医療環境など、キャンプ地としての魅力をPR。4月に同国スポーツ文化芸術省の職員や陸上関係者が施設や交通、サポート環境の視察に訪れ、合意に至りました。

キャンプは2020年7月中旬から下旬ごろまで。陸上競技を中心に、県立久留米スポーツセンター陸上競技場や河川敷サイクリングロードなどで行う予定です。

地方創生で包括連携協定

福岡銀行と久留米市

福岡銀行は久留米市と平成28年2月、地方創生、地域の活性化を図ることを目的に包括連携協定を締結しました。

現在、福岡銀行では地方創生において公務金融法人部がフロントとなり、久留米市とまちなか創業支援施設「創業ロケット」での起業相談会の開催、高校生を対象とした起業教育のひとつとしてのビジネスグランプリのアドバイス、地場企業のビジネスマッチングのためのイベント「久留米広域商談会」や「1,000人女子会」への参加など、久留米市の地域活性化のためさまざまな事業に取り組んでいます。



1,000人女子会で創業の相談を受ける一丸調査役(ローン推進部)



ビジネスグランプリでの打合せの様子
吉岡調査役(公務金融法人部)



包括連携協定 締結式